

Microsoft Dynamics® 365 統合ERP構築サービス

国内外のERPを「Dynamics」に統一し
大幅なコスト削減と業務効率向上を実現

革新的なマーケティングとマーチャダイジングで
アイウェア業界の「あたらしい、あたりまえ」を創り出し、
現在、販売本数日本一*を誇る株式会社ジンス(以降、JINS)。
同社は急速な事業拡大とグローバル展開に対応するため
2016年運用コストの見直しを機に、それまで活用していた
外国パッケージの大型ERPを含め、
基幹システムをすべて「Dynamics」に統一。
大幅な運用コストの削減と業務効率の向上を実現しました。

*2016年8月期時点

Microsoft Dynamics 365



JINS

課題

業務を標準化し、運用コストを削減したい

現場の業務効率をあげて、空いた時間をより
創造的な業務にあてたい

システム管理部門の業務を軽減するとともに
スピード対応を可能にしたい

▶ 国内外の基幹システムを統一することで、
業務の標準化と大幅なコスト削減が図れた

▶ 使い慣れたExcelがそのまま入力ツールとして
使えるので、業務効率が格段に向上した

▶ ERPのバージョンも統一することで、国内外の
システムをわずか数名でスピード対応可能に

効果

従来からの課題

運用コストの削減、業務効率の
向上などを主目的に
ERPのグローバルな統一を検討

JINSは現在、グローバル展開を積極的に進めて
います。現状、日本以外に中国、北米、台湾にも展開
しています。(中国103店舗、北米4店舗、台湾17店
舗(2017年6月末時点))

2010年に中国の基幹システムの導入を検討しま
した。

「当時の中国は出店間もなく、まだ30店舗程度で
日本に比べると非常に小さな事業でありました。そ
のため日本で導入していた大型のERPですと、コス
ト面や導入スケジュール、導入にかかるリソースが
全く適合できず、そのため別のソリューションを模索
する必要がありました。そこで選定したのが
『Dynamics』でした」(澤田氏)

「Dynamics」選定の理由は3つ。1つは「導入コス
トが安い」こと。2つめは「システムの短期導入が可
能」なこと。3つめは「リテール業界向けの機能を持
っている」ところです。

2015年4月の北米出店時には、基幹システム構
築とともに、POS端末の導入を検討。POS専用機は
価格が高いためパソコンPOSでの対応を含め検討
を進めた結果、基幹システムから、店舗POSまでを1
製品で広くカバーする「Dynamics」を導入。同年11
月には台湾でも店舗POSを含めた形で「Dynamics」
を導入しました。

一方、日本本社では他メーカーの大型ERPを使
用して各拠点の会計処理を束ねていましたが、メー
カーが異なることによる運用コストの増加やオペ
レーションの煩雑さなどが大きな負担になっていま
した。そこで、2016年運用コストの見直しを機に改
めてグローバルレベルでの基幹業務のあり方を再
検討しました。

「グローバルレベルでバージョンを含めてすべて
一つのERPに統一し、コスト削減と業務効率の向
上、現場力の強化を実現したいと考えました。また、
システムの利用者数は、中国、北米、台湾などの海外
を含めると100名から150名にもなるため、少ない
システム要員でスピーディに対応するにはユーザビ
リティが高いことも重要でした」(澤田氏)

Interview



株式会社ジンス
システム企画室
マネジャー
経営企画室
事業開発グループ
澤田 和寿 氏



株式会社ジンス
システム企画室
リーダー
川上 良太 氏



株式会社ジンス
管理本部
経理グループ
リーダー
荒川 幸典 氏

導入パートナーの選定

「Dynamics」の豊富な導入実績と世界各国の現地サポート体制の充実が決め手に

導入パートナーには、日立ソリューションズを選びました。

「導入パートナーの選定にあたっては『Dynamics』のことを熟知し、Slerとしてのシステム導入実績が豊富な日立ソリューションズをマイクロソフト社から紹介してもらいました。当社のグローバル展開が加速する中で、展開先の現地でのサポートがとれる体制を築ける会社であることや海外での導入実績が豊富で、当社の業務を熟知した上で解決策を提示できる会社であることが日立ソリューションズを選んだ大きなポイントでした」(川上氏)

導入の効果

ERP統一による大幅なコスト削減とExcel活用によるユーザビリティの高さが大きな効果を生む

一番の効果はコストの削減です。今までは国内と海外が違うメーカーの基幹業務システムだったため、ロイヤリティやライセンス使用料を含めたIT運用コストが膨大でした。しかし、国内外すべてのERPを「Dynamics」に統一することでIT投資や外部委託費などを含めたIT運用コストが8分の1と大幅に削減できました。

また、バージョンを含めてまったく同じパッケージなので日本でつくった仕組みを海外にそのまま展開でき、事業規模の大きい中国で起こった問題解決策を、そのまま北米にも展開できるなど、モジュール移行や、問題の解決策の共有が国をまたいで簡単にできる効果は計り知れません。

さらに、業務オペレーションの統一が図れたことにより、システム部門を通すことなく各国の現場同士がオペレーション方法などを問い合わせることができるなど、数字に表れていない効果もできています。

2つめの効果は、世界各国の現場社員が最も良く使っているMicrosoft Excel®(以降、Excel)がそのままインターフェイスとして利用できることで得られる業務効率の向上です。

「すでに既存業務の中でExcelを使った情報管理の仕組みが数多く作成されています。『Dynamics』への入力にはインポートの機能で、普段使っている情報をExcelからそのまま簡単に取り込めるので二重入力の必要がなく、大きな効果を実感しています。もちろん、改めて入力用の画面を作成する必要もなく無駄な投資が不要です」(澤田氏)

さらに、Microsoft Office®製品と双方向の連携を実現することで、ERPに蓄積された情報資産を有効活用できるようになり、業務のスピード化と価値創造に向けたプラットフォームが確立できました。

3つめの効果は、グローバルシステム運用に関わる社内システム人員の件数も大幅に削減できていることです。「現在、海外拠点の基幹システムのランニング保守はシステム人員数名で対応しています。現在世界で稼働しているシステムを数名で対応できるのもバージョン統一にもこだわった『Dynamics』導入のメリットだと実感しています」(川上氏)

さらにERP統一により、会計業務の効率化にも効果が出ています。

「グローバルな会計システムを導入できました。これにより、各国間とのコミュニケーションが円滑に図れるようになりました。また、今後の連結決算業務に

ついてさらにも効率化を図っていくことができると考えております」(荒川氏)

今後の展望

"Magnify Life"の実現を通して100年続く企業でありたい。そのための基盤を構築していきたい

JINSは、売上などの単なる数値目標ではなく、どれだけ顧客価値を創造できたかを目標に置いています。そのためシステム企画室では、新価値創造ビジネスをグローバルレベルで推進するとともに顧客ニーズの見える化など、より一層顧客視点に立ったイノベーションを支援する仕組みの構築をめざしています。

「今後は、AIなど新しいITソリューションを活用してビジネスをリードするIT基盤を創っていきたくて考えています。私たちは世界中の人々の人生を豊かにする"Magnify Life"の実現を通して100年続く企業をめざしています。そのため、グローバル事業を支えるIT基盤を構築する必要があります。それを実現するために日立ソリューションズと一緒に新しいIT基盤を構築していきたいと考えています」(澤田氏)



JINS 渋谷店



北米の第1号店、グローバル旗艦店「JINS Union Square」

Company Profile



株式会社ジinz

本社所在地	東京都千代田区富士見二丁目10番2号 飯田橋グラン・ブルーム30階
設立	1988年7月
従業員数	3,586名(平成28年8月31日現在)
事業内容	国内外において、商品企画・生産・物流・販売までの自社一貫コントロールにより、高品質・適正価格のメガネブランド『JINS』を提供する小売業

<http://www.jins.com/>

※本事例の内容は取材時点(2017年7月)の情報です。※ Microsoft Dynamics、Microsoft Excel、Microsoft Office は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本文中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本文中の情報は、事例作成時点のものです。



本事例のwebページはこちら

www.hitachi-solutions.co.jp/dynamics/case02/

株式会社日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/dynamics/

J17K-16-02

2017.08